

＜根研究会 1994年度会計報告＞

1994年度決算報告

根研究会の1994年度会計は以下の通りでした。

《 収入の部 》

前年度からの繰越金	△77,497円
会費収入	
1994年度分〔注1〕	481,000円
1993年以前の未納分	63,000円
その他〔注2〕	60,000円
合 計 〔注3〕	526,503円

《 支出の部 》

会誌印刷製本費	290,872円
会誌送料(切手・封筒等)	203,006円
事務局経費・その他〔注4〕	39,290円
次年度への繰越金	△6,665円
合 計 〔注5〕	526,503円

注1：1993年までに前納された64,000円を含む。

注2：バックナンバー売上10,000円，寄付50,000円。

注3：繰越金を除いた収入合計は604,000円。

注4：印鑑作製費・出版物登録費などを含む。

注5：繰越金を除いた支出合計は533,168円。

収入は1994年12月23日に，支出は12月27日に決算しました。
このほかに，1995年度以降の会費前納分73,000円を預かっています。

〔決算説明〕 経費節減のため，同じ機関に複数の個人会員がいる場合には，会誌『根の研究』をまとめてお送りし内部で配布していただきました（第4号のみ会費納入状況をお知らせするために個別にお送りしました）。また，運営委員や執筆者の方々には，通信や原稿作成などにかかわる経費を特に額の大きい場合以外は各自で負担していただきました。お蔭様で，郵便料金の値上げなどあったにもかかわらず経費を会費収入の範囲内に抑えることができました。また，1994年度は第4回根研究集会からの寄付もあり，研究会発足当初の赤字はほぼ解消されました。1995年度以降の会費前納分もあり，未払金や借入金なしでの運営が可能となりました。

会費未収金（会費未納）もありますが，会誌第4号の送付時に会費納入状況の案内を同封しましたので，約半分が決算から今日までに既に回収されました。なお，1992年や1993年分の会費も未納の会員については，1月末日までお待ちするというご案内し，尚且つご入金いただけなかった14名の方々については自動的に退会とさせていただきます。

なお，1994年度中に行われた，第2回JSRRシンポジウム（佐賀県唐津市），第4回根研究集会（東京）および『根ハンドブック』出版には本会からのお金の援助はなく，各運営委員会・企画担当者による独立会計で運営されました。

1995年度予算（事務局案）

今年度は以下の予算で運営したいと思いますので，ご協力をお願いします。

《 収入の部 》

前年度からの繰越金	△6,665円
会費収入	
1995年度分 [注]	500,000円
1994年以前の未納分	80,000円
その他 (バックナンバー売上等)	15,000円
合 計	588,335円

《 支出の部 》


会誌印刷製本費	300,000円
会誌送料 (切手・封筒等)	220,000円
事務局経費・その他	50,000円
次年度への繰越金	18,335円
合 計	588,335円

注：1994年までに前納された55,000円を含む。1996年以降の会費前納金はここには含まない。会費不払いがなければ約60万円だが、1994年度より若干良い程度の会費納入率を見込んだ。

[予算説明] 1995年度も会費は個人会員2,000円、団体会員7,000円とし、1994年と同程度の収入を見込んでいます。将来は、会誌を機関一括でなく個別にお送りしたり、会の運営や会誌の原稿作成・送付などで関係者に負担していただいた分をお支払できるようにしたいと思います。今年度に関しては従来と同様、会誌は一括送付・諸経費の各自負担を原則にご協力をお願いします。会費未納がなくなれば、こうした経費を支払う余裕も出てくるかと思われま。収入はほとんどが会員の皆様の会費に依存しておりますので、今年度分を未納の方はお忘れなく納入をお願いします。

1995年1月19日 事務局代表 阿部 淳

< 監 査 報 告 >

根研究会 会長 殿	1995年1月23日
根研究会の1994年度(1994年1月1日～1994年12月27日)の会計監査を実施した結果、会計収支内容および帳簿、証明書等に付いて適正に処理されていることを確認した。	
	監査委員 小柳 敦史 

[監査説明]

研究会の会計収支状況は1994年度で好転し、会は財政的に安定してきたと思われま。ただし、これは事務局や運営委員の方々の献身的な努力に支えられているもので、今後は徐々に事務局経費の割合を増加させ、事務処理の一部を外部に発注することができるような体制を整える必要があると考えられます。

研究会の運営では、適宜アンケート調査を行うなど、会員の要望を積極的に収集する工夫が行われ、これを参考にして年4回の会誌の発行、研究集会やシンポジウムの開催などの活動が活発に行われたと思います。特に、1994年5月には佐賀県唐津市で100人規模のシンポジウムが行われ、11月に東京で行われた研究集会では一般講演とともに公開講演を行うなど、社会に開かれた活動も行われました。今後とも会員や関連分野の方々のニーズに応える活動の展開が期待されます。

監査委員 小柳敦史